

体罰等に関する全校アンケート調査の集計等の状況について

1 体罰等に関する全校アンケートの概要

(1) 調査の実施

このアンケート調査は、体罰や不適切な指導に関する実態把握を行い、これら行為の防止、根絶に向けた取り組みに役立てるため、全市立学校の児童生徒・保護者に対し行った。

調査内容は、「体罰や不適切な指導を受けた又は直接それを見聞きした経験」の有無を問い、その経験が「あり」の場合、さらに具体的な状況（いつ、どこで、誰が、誰に対し、どのような体罰・不適切な指導を行ったのか等）を回答するものとした。

平成 29 年 7 月、市立中学校（中等教育学校の前期課程を含む）の生徒・保護者を対象に合計 25,625 通、同年 9 月、市立小学校、市立高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）、特別支援学校の児童生徒・保護者を対象に合計 55,835 通を配付し、回答用紙を、返信用封筒を用いて、直接、教育委員会事務局あてに郵送することによって回収した。

(2) 事実確認の手順

回答用紙收受後の事実確認の手順は、概ね以下のとおりである。

- ① 回答の記載内容について、教育委員会事務局において各学校ごとに集約し、整理した。
- ② 各市立中学校の校長に対しては平成 29 年 10 月、その他の市立学校の校長に対しては同年 12 月に、各学校ごとの集約結果を示し、事実確認とその報告を指示した。
- ③ 各校長が、過去の記録との突合や教員、生徒、保護者等から聞き取りを行うことで事実確認を行い、同一の事案と思われるものについては整理しながら、「体罰」又は「不適切な指導」として認知したもの、認知できなかったものに分類した。
- ④ ③の報告を、市立中学校は 11 月末までに、その他の市立学校は 1 月末までに教育委員会事務局に行い、これら報告内容を踏まえ、改めて事実関係を精査した。

2 回答の状況

(1) 回収状況及び「体罰や不適切な指導を受けた又は直接見たり聞いたりした経験の「あり」「なし」に対する回答状況

校 種	配付数〔通〕	回収数〔通〕 (回収率〔%〕)	あり〔通〕 なし〔通〕 無回答〔通〕 (回収数に占める割合〔%〕)		
全体合計	81,460	35,543 (43.6)	1,659 (4.7)	33,712 (94.8)	172 (0.5)
小学校	52,503	25,708 (49.0)	1,188 (4.6)	24,393 (94.9)	127 (0.5)
中学校	25,209	8,651 (34.3)	434 (5.0)	8,177 (94.5)	40 (0.5)
高等学校	2,792	981 (35.1)	26 (2.7)	953 (97.1)	2 (0.2)
中等教育学校	810	179 (22.1)	2 (1.1)	177 (98.9)	0 (0.0)
特別支援学校	146	20 (13.7)	6 (30.0)	12 (60.0)	2 (10.0)
校種不明	—	4 (—)	3 (75.0)	0 (0.0)	1 (25.0)

(2) 体罰や不適切な指導を受けた経験等「あり」の状況

校 種	「あり」回答数 〔通〕	児童・生徒本人 が受けた 〔通〕	体罰等を見た・ 聞いた 〔通〕	不明・未記入 〔通〕
小学校	1,188	508	590	90
うち記名あり※	307	199	96	12
中学校	434	131	270	33
うち記名あり	125	85	39	1
高等学校	26	9	16	1
うち記名あり	5	3	2	0
中等教育学校	2	0	2	0
うち記名あり	0	0	0	0
特別支援学校	6	4	2	0
うち記名あり	4	3	1	0
校種不明	3	0	0	3
うち記名あり	0	0	0	0
合 計	1,659	652	880	127
うち記名あり	441	290	138	13

※「うち記名あり」…回答用紙に児童・生徒の記名があったもの

(3) 体罰・不適切な指導等の確認件数

(2) で「あり」と回答されたものについて、学校及び教育委員会事務局において同一の事案に関する記載を整理し、「体罰」又は「不適切な指導」として確認した件数は、下表のとおり。

校 種	体罰〔件〕	不適切な指導〔件〕
小学校	35	153
中学校	12	81
高等学校	2	2
中等教育学校	0	0
特別支援学校	0	2
校種不明	0	0
合 計	49	238

3 体罰について

○ 事実関係が確認された体罰の例（行為が重複している例あり）

(1) 小学校

- ① 手でたたく（9件） ② 手で突く、押す（5件） ③ 胸ぐらをつかむ（3件）
- ④ 耳を引っ張る（3件） ⑤ 無理に体を引っ張る（2件） ⑥ つねる（2件）
- ⑦ 肩を小突く（2件） ⑧ 体を引きずる ⑨ 蹴った机が体にあたる
- ⑩ 体を床に押しつける ⑪ 髪を引っ張る ⑫ トイレに行かせない
- ⑬ 頭をつかむ ⑭ 無理に体を持ち上げる ⑮ 児童の頭と頭をぶつける
- ⑯ 転倒させる ⑰ 立たせる（⑧～⑰各1件）

(2) 中学校

- ① 手でたたく (3件) ② 物でたたく (3件) ③ 手で突く、押す (4件)
④ 胸ぐらをつかむ (2件) ⑤ 蹴る ⑥ 引っ張る ⑦ 正座 (⑤～⑦各1件)

(3) 高等学校

- ① 手でたたく、髪を引っ張る、手の甲で腹をたたく (1件)
② 蹴るふりをして、生徒の身体を脚で押す (1件)

※ 中等教育学校、特別支援学校に該当する事案はなし

4 不適切な指導について

○ 事実関係が確認された不適切な指導の例 (行為が重複している例あり)

(1) 小学校

- ① 暴言 (28件) ② 無視 (2件) ③ 威圧的な指導 (40件)
④ 不適切な発言 (76件) ⑤ 特定の生徒に厳しい (9件) ⑥ 接触 (6件)

(2) 中学校

- ① 暴言 (20件) ② 無視 (3件) ③ 威圧的な指導 (18件)
④ 不適切な発言 (41件) ⑤ 特定の生徒に厳しい (8件) ⑥ 接触 (2件)

(3) 高等学校

- ① 生徒の個人情報に対する配慮不足 (1件) ② 不適切な発言 (1件)

(4) 特別支援学校

- ① 特定の生徒に厳しい (1件) ② 不適切な発言、対応 (1件)

※ 中等教育学校に該当する事案はなし

5 アンケート調査後に発生した体罰・不適切な指導について

(1) 体罰

- ① 小学校において、友達を叩いたとされる児童の頭部を平手でたたいたもの
② 中学校において、授業中に私語を続ける生徒に対して、口に養生テープを貼ったもの
③ 中学校において、授業中に教材を投げた生徒の頭部を平手でたたいたもの

(2) 不適切な指導

- ① 小学校において、授業中、選挙カーの音声がうるさいとして、そのような候補者は好ましくない、との話をしたもの
② 小学校において、担任の教科と関係なく、授業中、性に関する話をしたもの
③ 中学校において、教科で用いる生徒の自己評価カードの感想欄に、不適切な記載をしたもの

6 今後の対応について

- (1) アンケート調査後に発生したものも含め、事実関係の調査が終了した体罰・不適切な指導については、すでに当該校長から教員に対し指導を行っているが、5月中旬を目途に、あらためて教育委員会においても指導を行う。また、事実関係の調査が継続しているものについても、終了次第、順次、指導を行う。
- (2) 今回のアンケート調査による事実確認等を踏まえ、体罰・不適切な指導等が、どのような状況、どのような関係性の中で起きているのか、また、教員がなぜ体罰・不適切な言動をしてしまったのかなどを分析・整理し、今後、教員の研修、指導等に活かしていくこととする。